

2020年度 物性コース 先端科学技術セミナー日程と題目

1	はじめに： 極限環境下の物質科学—金属水素は室温超伝導になるか—	(担当：清水)	10月7日
2	強相関電子系における量子凝縮状態 —エキゾチック超伝導とその周辺—	(担当：井澤)	10月14日
3	計算物理の物質科学への応用	(担当：草部)	10月21日
4	量子情報科学—情報科学の物理限界への挑戦—	(担当：山本)	10月28日
5	レーザーによる物質科学の最前線—光物性から物質の操作まで—	(担当：芦田)	11月4日
6	量子多体論の最前線 — 強相関電子系からトポロジカル絶縁体・超伝導体まで —	(担当：藤本)	11月11日
7	機能性量子物質の最前線 —新物質開発と新機能探索—	(担当：石渡)	11月18日
8	高エネルギー固体電子分光の最先端 —放射光とレーザーによる軌道対称性・準粒子観測—	(担当：関山)	11月25日
9	光を操る、光で操る —光とナノ物質のインタープレイが拓く世界—	(担当：石原)	12月2日
10	スピントロニクス の現状と次世代デバイスへの展望	(担当：鈴木)	12月9日
11	分子エレクトロニクスの現状と将来展望	(担当：多田)	12月16日
12	強相関電子系物性の次世代ナノデバイス展開	(担当：田中)	12月23日
13	核磁気共鳴(NMR)で未知なる高温超伝導現象の謎に挑む	(担当：椋田)	1月6日
14	物質科学の産業応用 —スピントロニクスナノ薄膜やグラフェンを中心に—	(担当：千葉)	1月13日
15	予備日		1月20日
16	物質科学の未来に向けて	清水	1月27日